



納得解を見つけ出す―「いのち」の学習を通して―

校長 土佐 幸子

暖冬、雪の少ない冬と喜んでいたところに、インフルエンザの大流行で、2年生は学年閉鎖を行いました。何とか収束に向かっており、皆様のご協力に感謝いたします。

この時期、昨年2月に沖縄の修学旅行に同行したことを思い出します。中でも印象に残っているのは伊是名島で出会った若者のことです。車で島内を案内してくれたその人は、伊是名島の出身で、島の観光協会に勤めています。島には高校がないので、高校生になると島を出て沖縄本島で暮らすのだそうです。そのまま島に戻らない人も多い中、彼は高校の同級生と結婚し、島に戻って観光協会の職員になりました。島では観光が大事な収入源であり、重要な仕事です。話を聞いてみると、観光で島を成り立たせるためには多くの準備が必要で、そのために苦労しているとのことでした。例えば、きれいな海を求めて島に来てくれるお客さんのために、海岸清掃は必須です。沖縄本島の西に位置する伊是名島には、大陸方向から大量のごみが打ち寄せられるのだそうです。海岸清掃にはごみを集めるだけではなく、ごみの焼却も必要ですが、島には焼却施設がないので、本島まで送って処理してもらわなければならない、その費用は膨大です。そこで知恵を働かせ、例えば子どもたちが加わる清掃活動を計画して、子どもの活動を支援する公的な予算を獲得することもあるそうです。3人の子どもを育てながら、島のために力いっぱい生きている若者の姿に感動を覚えました。



伊是名島での別れ

本校では「いのち」の学習を通して、生命について考えるのはもちろんのこと、簡単に答えが出ないような問題に対して、情報を集めたり、周りと話し合ったりして深く考え、自分も周りも納得できる解を導き出す力を育んでほしいと考えています。少子高齢化、過疎問題は新潟も沖縄の離島と同じです。「いのち」の学習が、生徒の皆さんの進路選択などの個人的な事柄に対しても、また将来の仕事上の問題に対しても、納得解を見つけ出す方略を得る機会を与えてくれたらと思います。生徒の皆さんの積極的な取り組みに期待します。

第Ⅲ教育期・第Ⅳ教育期の「教育活動評価」について

12 月に実施したアンケート結果についてお知らせします。今後、分析結果を基に指導の充実、改善に努めていきます。

【生徒アンケートより】 * () は、第Ⅰ教育期・第Ⅱ教育期との比較 単位：％

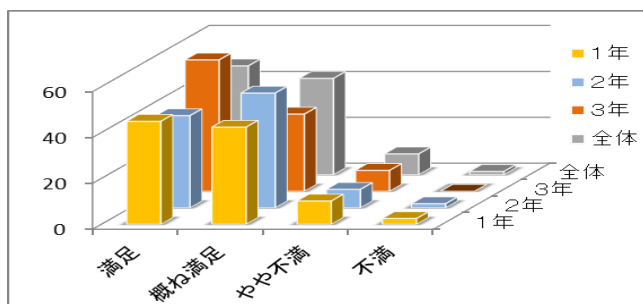
- 1 仲間とかかわり、自分の意見を交流させることで自分を高めている。
「そう思う」69％、「まあそう思う」29％…肯定的評価 98％(+7)
- 2 授業ではなぜだろうと疑問をもち、課題をもって取り組んでいる。
「そう思う」50％、「まあそう思う」46％…肯定的評価 96％(+6)
- 3 友達の良さを認め、協力して活動している。
「そう思う」73％、「まあそう思う」25％…肯定的評価 98％(+11)
- 4 学校や社会のきまり、マナーを守って生活している。
「そう思う」58％、「まあそう思う」36％…94％(±0)



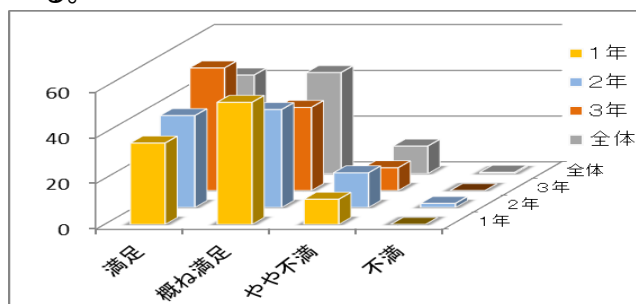
【保護者アンケートより】

☆学習に関して

- 1 基本的な学習態度や学習習慣を身に付けている。
- 2 学んだ知識や技能を使うことに楽しさを感じている。

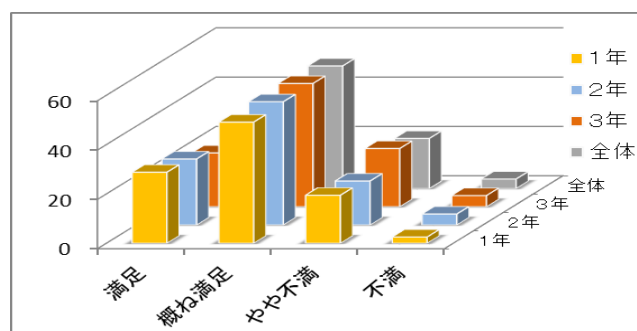


肯定的評価が89％。ⅠⅡ期と比較して、3年生の学習量が増えた時期と重なるため、全体として数値が伸びています。個に応じた指導の充実に努めていきます。



肯定的評価が87％で、ⅠⅡ期と大きな変化は見られません。今後も否定的評価の要因に着目して取り組んでいきます。

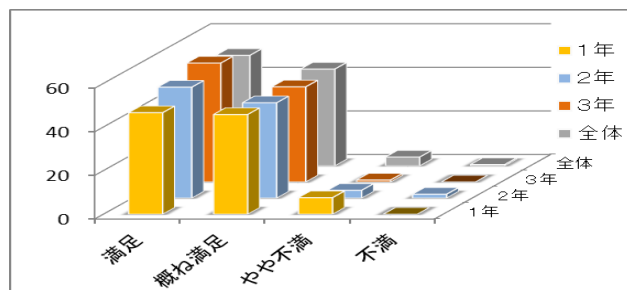
- 3 「いのち」で学んだ生命や安全をめぐる事柄について、家庭でも追求したり、話題にしたりしている。



肯定的評価が少し増えました。11月9日に実施した全校「いのち」の日のパネルディスカッションにより、保護者の方々にも理解が広がったようです。今後も学習の充実を図りながら、更にホームページを活用して継続的に情報を発信していきます。

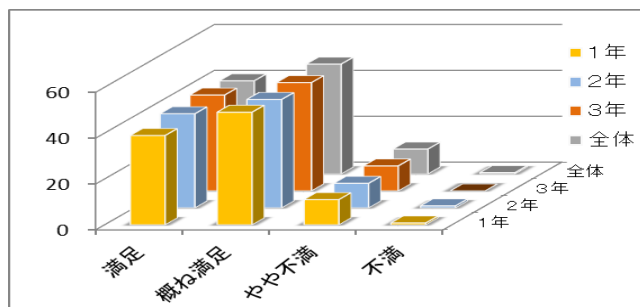
☆生活に関して

- 4 他者に対して、思いやりの心をもって生活している。



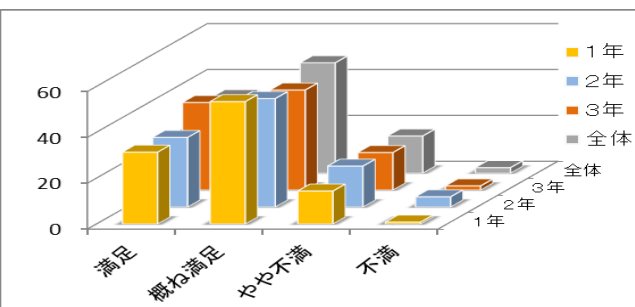
肯定的評価がⅠⅡ期と同様に高評価です。ⅢⅣ期は、心ない言動や問題行動等も見られました。温かい人間関係が醸成できるよう指導を継続していきます。体験活動の充実や、「いのち」と道徳の授業を通して、豊かな人間性や価値観の形成を図っていきます。

5 「自分にはよいところがある」といった自尊感情をもって生活している。



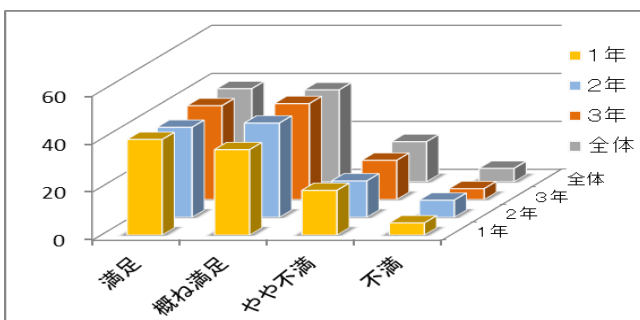
肯定的評価が89%。I II期同様におおむね良好と考えられます。今後も職員が日頃の生活の中で、個々の生徒のよさを認め、その上で必要な指導を行っていきます。職員から率先垂範していきます。

6 生活習慣の改善を図り、健やかな生活を送っている。



肯定的評価が81%。I II期同様な傾向です。しかし、文章記述では家庭での様子を心配する声が幾つか見られました。いつでも学級担任にご連絡ください。保護者の皆さんの困り感に寄り添った指導を目指します。

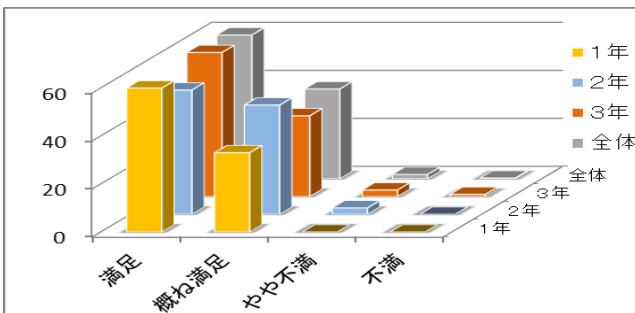
7 パソコンや携帯電話、スマートフォン等の使い方やインターネットの利用について、家庭での約束をきちんと守っている。



肯定的評価が80%。文章記述には、「学校でルールを設定してほしい」「友人との関係からどうしてよいかわからない」などの声が挙がっています。現在、学校として対策を検討しています。

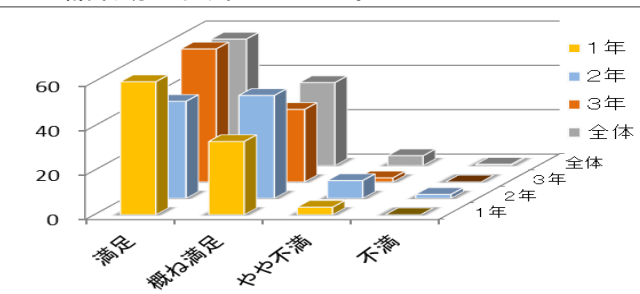
☆学校職員とのかかわり

8 学校は教育方針や学校経営方針、学校の様子を保護者会や学校だより等で積極的に情報公開している。



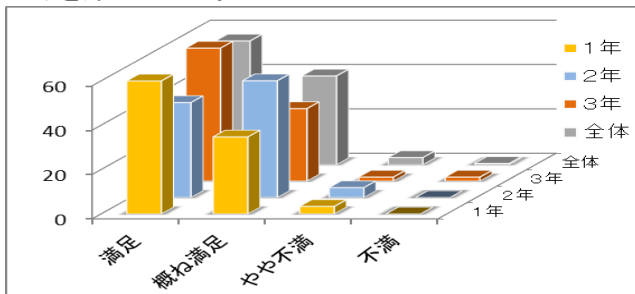
ホームページ等を有効活用し、保護者や地域の方々への情報発信に努めていきます。今後は良い面だけでなく、課題に対する啓発も行っていく予定です。

9 学校全体の雰囲気がよく、生徒が生き生きと学習や諸活動に取り組んでいる。



肯定的評価が95%。文章記述には、挨拶の向上を期待する声を多くいただきました。学友会を中心に、諸活動の見直しを図りながら、生徒が自己の成長を実感できるよう支援していきます。

10 職員は学習指導や生徒指導を通して、生徒と関わりを深めている。



肯定的評価が96%。文章記述では職員の取組を評価していただける声を多くいただきました。今後も、職員と生徒との温かい人間関係を基に、個々の生徒、集団としての成長を目指して指導をしていきます。

【文章記述より】

《生活面》

- ・緊張感も解け、クラスや部活の仲間とも仲良く過ごしているようです。身に付けた力を徐々に発揮でき、成長が感じられました。さらに努力してほしいです。（1年保護者）
- ・周りに流されずに自分の意志で行動するときもあるようで、自分自身の想いや感覚を行動に移せる自信が持てるようになってきたのかと思っています。日々のご指導のお陰であり、これからもよろしくお願いします。（2年保護者）
- ・附属中学校の生徒として通学する日々も残りわずかとなりました。部活動や行事などを通して大きく成長する様子や附中生だからこそできる学びに触れ、入学してよかったと思うことが多いです。（3年保護者）

《ネット関係》

- ・パソコン関係では約束が守られないので、かなりの規制をかけたり取り上げたりして対応しています。時々履歴もチェックし、何に関心、興味があるのか確認しています。（1年保護者）
- ・家でもパソコンやインターネットの約束をしています、友達との会話や友達がやっていることの影響の方が大きいと感じます。（2年保護者）
- ・ガラケーのみ使用可とする。SNS等の利用は百害あって一利なし、中学生の学習環境にはマイナスでしかありません。親も管理できない情報機器を利用させるべきではありません。（3年保護者）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。今年度、各学年でインターネットを介したトラブルが発生しています。家庭内でのルールの徹底をお願いします。何かお気づきの点は、いつでも学校にお知らせください。

各種大会入賞結果

種目・大会名	結果
第54回新潟県中越教育美術展	新潟日報社賞 2年 栗野春奈 特選 1年 相田心歩 3年 森あおい
朝永振一郎記念 第13回「科学の芽」賞	奨励賞 丸山陽大「熱気球を長く飛ばすには2」 努力賞 野崎浩気「混合物の炎色反応」



新潟日報社賞 2年
栗野春奈



特選 1年
相田心歩



特選 3年
森あおい

第54回新潟県中越教育美術展

新潟大学教育学部附属長岡中学校 〒940-8530 長岡市学校町1-1-1

Tel 0258-32-4190 Fax 0258-32-6340

Email kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp ホームページ <http://www.nagaoka.ed.jp/>